

令和3年 新年のご挨拶

公益社団法人熊本市シルバー人材センター
理事長 西島 喜義

明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、わが国はもとより世界中が新型コロナウイルス感染の影響を受け、私たちの生活様式は一変して参りました。また、7月には豪雨により球磨川流域を中心に甚大な被害が生じるなど、大きな災害に見舞われるなど、厳しい1年でした。

本シルバー人材センターにおいても、女性会員のためのビューティフェアの開催断念や会員親睦のための「なごみの会」の旅行企画の中止など、さまざまなイベント開催ができなくなるなどの影響を受けております。

シルバー人材センターの就業の状況は、コロナ感染防止のため飲食業や福祉関連施設などの業務の減少が見られるものの、草刈り、剪定や駐車・駐輪の管理のほか、家事支援や子育てなどの業務においては比較的影響は小さく、シルバー人材センター事業が日常の生活の基盤を担う、いわゆる「エッセンシャルワーク」の一つであることを改めて知ることができました。

新年度においては、コロナ感染症への対応のための厳しい経営環境が引き続くものと思われませんが、従来の草刈り、剪定や管理業務、派遣業務などの他、新しい介護保険総合事業の推進と空き家対策事業の導入などに積極的に取り組むこととしております。

事業の柱としては、1安全就業の推進 2会員の確保 3地域密着の課題対応 4財政の安定 5楽しい仲間づくりのSCを掲げ、計画・実施・評価のPDCAサイクルにより第6次中期計画を推進して参ります。

これからも「生涯現役社会」の実現の一翼を担うシルバー人材センターとして、自治体や地域の関係団体との連携協力を図りながら、シルバー会員百万人達成計画に基づく会員拡大への取組みを進めつつ、人生100年時代のシルバー事業の積極的な展開を図っていく所存です。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の早期の収束を願うとともに、皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。